

会 務 報 告

1 昭和57年7月本学会創立時就任した役員の任期満了に伴い、会則により全評議員の投票（昭和59年6月4日公示、同13日締切、有効投票率84.4%）の結果、昭和59年6月13日開催の理事会において本年7月よりの新役員を決定した。本件は総会の議を経る必要があるが、会務処理上止むを得ない事情によるもので、次回の総会において承認を求めるとし、職務分担も下記のとおりとし会務運営にあたることとした。

会 長 神澤康夫
 専務理事 堀越達郎
 庶務理事 井藤信義
 会計理事 猪股孝四郎
 企画理事 加藤 熙, 金澤正昭
 編集理事 岡田泰紀, 奥山富三,
 市田篤郎
 監 事 中村治雄, 秋貞泰輔

2 昭和59年10月23日(火) 札幌歯科医師会館 (PM6:30~9:00) においてアラバマ大学歯学部教授 Theodore Koulourides 氏により「ウ蝕治療における石灰化のかかり合い」と題し、北海道歯学会、札幌歯科医師会および本学会3者合同共催の学術講演会を開催、参加者多数を迎え盛大であった。

3 昭和59年10月27日(土) 下記の次第により東日本学園大学創立10周年記念歯学講演会を開催し、道内歯科医師会員、本学会員多数の聴講者があり極めて盛会裡に終了し、続いて懇親会を行い意義深い日を過ぎた。

プログラム

- (1) 開会宣言
 (2) ご挨拶 学長 安倍三史
 学会長・歯学部長 神澤康夫
 (3) 序論～これからの歯科医療のために

学会専務理事・病院長 堀越達郎

- (4) 講演 I
 歯周病学の現状と未来

本学教授 加藤 熙

- (5) 映画供覧 「北緯43度線の青春」

- (6) 講演 II

新生体材料アパタイトセラミックスの応用によるインプラント義歯

東京医科歯科大学教授 田端恒雄

3 昭和59年12月4日の理事・監事会において下記が承認された。

- (1) 昭和59年度会計の中間報告。
 (2) 会則の一部改正案(別掲)が承認され、次回総会にて承認を求めるとした。
 (3) 第3回本学会総会および学術大会(担当：口腔外科学第I講座)を昭和60年3月2日(土)開催する。

会則改正(案)

本改正は原則的に承認(昭和59年3月6日理事会)されていたが、成文化未了のための措置である。

(現行第10条に次の____の語句を加える)

第10条 学会の会費を次の通り定める

- 1 正会員 入会金 3,000円 年会費 5,000円
 2 準会員 年会費 3,000円
 3 賛助会員 入会金10,000円 年会費30,000円
但し新入会員にして、会費3年以上を前納した者に対しては入会金を免除する。

追記 なお会務について理事会決定事項は遅滞なく本紙面に報告する方針であるが、総会による承認を要するものについては、年1回開催の総会との関係から、会務運営執行上極めて不都合もみられるので一部は仮実施を行っている。この点会員各位の御諒解を乞う次第である。